

第62回 日本泳法大会

◇主 催	(公財) 日本水泳連盟
◇主 管	長野県水泳連盟
◇期 日	平成29(2017)年 8月19日(土) ・ 20日(日)
◇会 場	長野運動公園総合運動場 総合市民プール「アクアウイング」(以下、アクアウイング) 〒381-0043 長野県長野市吉田5-1-19 TEL: 026-244-7555

◇大会内容(出場条件及び申込金・登録料) ※資格審査申込金は税込、その他は課税対象外

(1) 競技の部

競技の部出場者は、(公財) 日本水泳連盟「日本泳法」の競技区分に平成29(2017)年度団体登録および競技者登録を完了している団体および選手とする。ただし、係員を除く競技役員(審査員・審判員等)は競技の部に出場することはできない。

また、日本泳法競技規則[平成26(2014)年4月1日改正・施行]に従う。

- ① 泳 法 競 技 男・女 15歳以上、25歳未満の者 申込金2,000円
(平成4(1992)年4月2日～平成14(2002)年4月1日生まれの者)
 - ② 同 ジュニアクラス 男・女 小学校4年生～中学校3年生 申込金1,000円
但し16歳以上(平成13(2001)年4月1日までに生まれた者)の中学校在学者、および泳法競技出場者は出場できない。
 - ③ 団体泳法競技 性別区分なし・15歳以上の者 申込金7,000円
1団体につき、同一流派の15歳以上の選手5～6名で編成する1チームの申込とする。
但し、泳法競技および同ジュニアクラスの出場申込者は申込みできない。
 - ④ 同 シニアクラス 性別区分なし・60歳以上の者 申込金7,000円
1団体につき、同一流派の60歳以上の選手5～6名で編成する1チームの申込とする。
但し、団体泳法競技の出場申込者、範士・教士資格保有者は申込みできない。
 - ⑤ 横 泳 ぎ 競 泳 男・女、年齢区分なし 申込金2,000円
 - ⑥ 支 重 競 技 男・女、年齢区分なし 申込金2,000円
- ①～④の複数競技への申込みはできない。(③と④は別選手の場合、同一チームの申込みは可)

(2) 資格審査の部

複数資格の同時受査はできない。

日本泳法資格審査規程[平成26(2014)年4月1日改正・施行]に従う。

- ① 游士 申込金5,400円、登録料15,000円
25歳以上の者(平成4(1992)年4月1日までに生まれた者)
- ② 練士 申込金5,400円、登録料30,000円
次の各号のいずれかに該当する者
(1)平成26(2014)年度までに今回受査する流派で游士を取得した28歳以上の者
(平成元(1989)年4月1日までに生まれた者)
(2)受査する流派で泳法競技に出場し予選を通過した実績を有する者、あるいは受査する流派で泳法競技に3回以上出場し競技した経験を有する者で、25歳以上の者
(平成4(1992)年4月1日までに生まれた者)
- ③ 教士 申込金5,400円、登録料50,000円
平成24(2012)年度までに受査する流派で練士を取得した30歳以上の者
(昭和62(1987)年4月1日までに生まれた者)
- ④ 範士 申込金5,400円、登録料80,000円
平成19(2007)年度までに受査する流派で教士を取得した45歳以上の者
(昭和47(1972)年4月1日までに生まれた者) ※後述注意事項(1)参照
- ⑤ 修水 申込金5,400円、登録料30,000円
平成26(2014)年度までに受査する流派で游士を取得した練士未取得の28歳以上の者
(平成元(1989)年4月1日までに生まれた者)
- ⑥ 和水 申込金5,400円、登録料50,000円
平成24(2012)年度までに受査する流派で修水若しくは練士を取得した50歳以上の者
(昭和42(1967)年4月1日までに生まれた者)
- ⑦ 如水 申込金5,400円、登録料80,000円
平成24(2012)年度までに受査する流派で教士若しくは和水を取得した60歳以上の者
(昭和32(1957)年4月1日までに生まれた者)

(3) 公開演技の部、模範演技の部 申込金不要

団体の演技で日本泳法として意義深いものを公募するとともに（公財）日本水泳連盟日本泳法委員会にて審議を行い決定する。

(4) 表彰の部 申込金（申請料）不要

下記のいずれかに該当する者に対し、本人の申請に基づき日本泳法大会永年出場者表彰を行う。

①満60歳以降において、日本泳法大会に5年連続で出場した者

②満60歳以降において、日本泳法大会に10年間で7回以上出場した者

但し、表彰は1回限りとする。尚、回数は本年を含み、出場とは各種競技出場と各種資格審査受査をいう。

◇大会（競技）内容及び開始順（予定）

※プログラム順序（開始順）が昨年度から変更になっております。又、参加人数等により同一日の中で時間・順番を変更する場合があります。大会前日の監督者会議等でご確認の上、余裕を持ってお集まりください。

第一日目 8月19日(土) 10:00 開会式

1. 泳法競技ジュニアクラス
2. 資格審査 <游士><修水>
3. 泳法競技 予選
4. 資格審査 <範士><如水><教士><和水><練士>
5. ジュニアクラス表彰式
6. 永年出場者表彰式
7. 横泳ぎ競泳 予選
8. 支重競技

第二日目 8月20日(日) 9:00 競技開始 15:30 閉会式

1. 横泳ぎ競泳 決勝
2. 団体泳法競技 1回戦～決勝
3. 団体泳法競技シニアクラス 1回戦～決勝
4. 泳法競技 決勝
5. 公開演技
6. 資格審査合格者式泳
7. 閉会式

競技結果表彰（除くジュニアクラス）

資格取得者表彰

◇申込規定

- (1) 資格 ①競技の部、資格審査の部、表彰の部共に参加年齢は平成29(2017)年4月1日現在の満年齢による。
②泳法競技ジュニアクラスの学年は、大会当日現在の在籍学年とする。
- (2) 申込方法 (公財) 日本水泳連盟に、郵便振替で納金の上、本年度規定の申込用紙・申請書と郵便振替払込請求書兼受領証のコピーを添付した申込金納入表にて申し込むこと。
納金方法は郵便振替のみとし、日本水泳連盟事務所での受付は行わない。
一旦入金された申込金の返金は、申込非受理の場合を除き行わない。
なお、本年度より「申込金納入表の裏面」に各種申込の注意事項等を記載致しましたのでご確認ください。
- (3) 申込期限 7月14日（金）必着
但し、泳法競技ジュニアクラスについては、7月21日（金）到着分まで追加申込を受け付ける。
- (4) 納金先 口座番号：00130-1-5178 加入者名：（公財）日本水泳連盟
通信欄：「第62回日本泳法大会申込金」と所属団体名を明記
- (5) 申込先 〒150-8050 東京都渋谷区神南1-1-1岸記念体育会館内
（公財）日本水泳連盟 日本泳法大会係
- (6) その他 指定業者による弁当・宿泊・交通機関の申込みは別になりますので、振込先を間違えないようにご利用下さい。

◇大会前日（8月18日（金））日程

※本年度は、大会受付を「アクアウイング（プール）第1会議室」にて、監督者会議を「陸上競技場会議室」にて行うので、ご注意下さい。

なお、「アクアウイング」は全館土足禁止のため、入口にて履物を脱ぎ、各自下足袋等を用意して下さい。プール備え付けのスリッパ等は使用しないで下さい。

(1) 受付

12時30分より13時25分まで、アクアウイング内第1会議室に設置する。

(2) 監督者会議

13時30分より、長野運動公園総合運動場陸上競技場内会議室にて開催する。

大会運営・施設利用等の重要な注意事項説明を行うので、出場団体（資格審査のみの出場団体含む）の監督者（代表）は必ず13時25分までに会場に集合すること。なお、各団体からの会議参加者は会場の都合により2名までとさせていただきます。

また、今年度より団体泳法競技、同シニアクラスの組合わせは、監督者会議にて団体責任者または代理の者による抽選で決定します。

(3) プログラム

出場者用・大会役員用プログラムは、受付にて申込み単位で配布する。

(4) 資格審査指定泳形発表

12時30分よりアクアウイング内第1会議室内に掲示する。（予定）

（16時目処に一旦撤収し、大会当日はアクアウイング2階会場受付脇に掲示する。（予定）

◇その他の注意事項及びお知らせ

(1) 「範士資格審査申請書」に関して、加盟団体（都道府県）の承認印は、各団体により手続が異なりますので、受査者にてご確認のうえ期日に間に合うようご取得ください。

(2) 大会会場内における写真撮影・ビデオ撮影に関する注意事項

大会会場内で写真撮影・ビデオ撮影を希望する者は、必ず大会受付にて事前手続を行い、所定の許可証明書を掲示の上、客席及び通路にて撮影すること。

手続き未了の方、係りの指示に従わない場合は、直ちに退場させる場合がある。

尚、プールサイドにおける撮影は競技役員を含め、別途日本泳法委員会が発行する撮影許可証保有者のみとし、それ以外は禁止する。但し、開会式・閉会式・表彰式時のみプールサイドにおける撮影を認める。

(3) 商業ロゴマーク等についての取り扱い規定

30cm²超の商標等の無い水泳用品、用具を使用すること。

(4) 資格ワッペン

資格審査合格者（登録者）に対する「資格ワッペン」の販売をいたします。今大会会場でもこれまでの合格者（登録者）に対する販売受付も行います。

(5) 交通手段

- ・大型車（バス等）の駐車場が必要な団体は、あらかじめ、当委員会総務までお申し出下さい。
- ・主に帰りの時間帯の利便に配慮し、競技場付近でのタクシーの待機配車を地元タクシー協会に協力要請する予定です。ただし、確実な乗車をお約束するものではないことを御了承下さい。（予約車ではありません）

主な待機時間帯の目安

- ①18日（金）15時から17時前後
- ②19日（土）15時から17時30分前後
- ③20日（日）午後以降、特に閉会式後

以 上

長野運動公園総合運動場全体図

※18日（金）大会受付及び泳形発表（第1会議室）

1 F エントランスより入場下さい

★
※19日・20日大会当日は役員、出場者は
2 F エントランスより入場下さい



18日（金）
★監督者会議
★審判研修
★資格審査専門委員会
★流派連絡会議

長野運動公園総合運動場管理事務所

【住 所】 〒381-0043 長野県長野市吉田5-1-19

【電 話】 026-244-7555

【FAX】 026-244-7156

泳法競技出場申込書

(第62回日本泳法大会用)

※太枠内に正確に楷書でご記入下さい。(この申込書を公式記録の原簿として利用します)

※日本泳法委員会では、「公益財団法人日本水泳連盟 個人情報保護規程」並びに「同 個人情報保護方針」に基づき、申請・取得情報等を取り扱います。尚、取得した個人情報は連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知お下さい。

フリガナ 氏 名			男 ・ 女	(平成 年) 西暦 年 月 日 生 2017 年 4月 1日現在 満 歳
住 所	〒 -		TEL () (携帯 ())	
所 属	流派名	団体名称		
	所在地	代表者氏名		
		TEL ()		

選手登録番号 番号記入又は状況を○で囲んで下さい								登録中 ・ 今後登録予定
-----------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--------------

大会出場歴 「初めて」か「2回目以上」どちらかを○で囲んで下さい	初 め て	2回目以上
-------------------------------------	-------	-------

演技開始位置 「左」か「右」必ずどちらか一方を○で囲んで下さい	左 審判員の左手からスタートする (からだの左側を下にして泳ぐ)	右 審判員の右手からスタートする (からだの右側を下にして泳ぐ)
------------------------------------	--	--

演技種目申込み 及び 記録表

<記入にあたっての注意事項>

1. 演技種目は公益財団法人日本水泳連盟 日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択して下さい
2. **予選演技種目**は「**泳法競技種目一覧表**」中の「※」のついている種目から選択して下さい
3. 他流派の種目を選択する場合は種目の後に(流派名)を記入して下さい
4. **水府流**は、区別のある種目については、「**上町泳**」・「**下町泳**」を必ず明記して下さい

予選

演 技 種 目 名 (流派名)	1	2	3	4	5	6	7	計	
平体									
横体									
立体									予選順位
↑ 予選種目以外の種目は演技が出来ません									
予選合計									

決勝

第一									
第二									
↑ 予選で演技した種目は決勝で演技出来ません									
↑ 演技種目が未記入・演技不可種目記載の場合は決勝で演技出来ません									総合順位
決勝合計									
総得点									

(公財)日本水泳連盟

泳法競技ジュニアクラス出場申込書

(第62回日本泳法大会用)

※太枠内に正確に楷書でご記入下さい。(この申込書を公式記録の原簿として利用します)

※日本泳法委員会では、「公益財団法人日本水泳連盟 個人情報保護規程」並びに「同 個人情報保護方針」に基づき、申請・取得情報等を取り扱います。尚、取得した個人情報は連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。

フリガナ 氏 名			男 ・ 女	(平成 年) (西暦 年 月 日現在 満 歳 年) 2017年 4月 1日現在 小・中学校
住 所	〒 - TEL () (携帯 ())			
所 属	流派名	団体名称		
	所在地	代表者氏名		
TEL ()				

選手登録番号 番号記入又は状況を○で囲んでください								登録中 ・ 今後登録予定
------------------------------	--	--	--	--	--	--	--	--------------

大会出場歴 「初めて」か「2回目以上」どちらかを○で囲んで下さい	初 め て	2回目以上
-------------------------------------	-------	-------

演技開始位置 「左」か「右」必ずどちらか一方を○で囲んで下さい	左 審判員の左手からスタートする (からだの左側を下にして泳ぐ)	右 審判員の右手からスタートする (からだの右側を下にして泳ぐ)
------------------------------------	--	--

演技種目申込み 及び 記録表

<記入にあたっての注意事項>

- 演技種目は公益財団法人日本水泳連盟 日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」中「※」の付いている種目より選択して下さい
- 水府流は、区別のある種目については、「上町泳」・「下町泳」を必ず明記して下さい

演 技 種 目 名		1	2	3	4	5	計
第一							
第二							
							得点合計
							成 績

(公財)日本水泳連盟

団体泳法競技出場申込書

(第62回日本泳法大会用)

- ※ 当委員会では、「個人情報保護に関する取組方針」に基づき、申込情報を取り扱います。
※ 団体泳法競技は同一流派の15歳以上の選手5～6名で編成すること。
※ 競技開始時に選手が5名に満たない場合は、当該試合不戦敗扱いとなります。

(フリガナ) 流 派 名
団 体 名 :

登 録 番 号

責任者 氏 名

〒
住 所

電 話 ()

(フ リ ガ ナ)	生年月日 (西暦)	日本泳法大会参加歴					
選 手 氏 名 (性 別)		選 手 登 録 番 号					
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							
	年 月 日生	初めて ・ 2回目以上					
男・女							

(公財)日本水泳連盟

団体泳法競技シニアクラス出場申込書

(第62回日本泳法大会用)

- ※ 当委員会では、「個人情報保護に関する取組方針」に基づき、申込情報を取り扱います。
 ※ 団体泳法競技は同一流派の60歳以上の選手5～6名で編成すること。
 ※ 範士・教士資格保有者は出場できません。
 ※ 競技開始時に選手が5名に満たない場合は、当該試合不戦敗扱いとなります。

(フリガナ) 流 派 名
 団 体 名 :

登 録 番 号

責任者 氏 名

〒
 住 所

電 話 ()

(フリガナ)	(西暦)生年月日 2017年4月1日年齢保有資格	日本泳法大会参加歴						
選 手 氏 名 (性 別)		選 手 登 録 番 号						
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								
	年 月 日生 満 歳 練・游・修 和・如・無	初めて・2回目以上						
男・女								

(公財)日本水泳連盟

(第62回日本泳法大会用)

申 込 競 技 横泳ぎ競泳のみ 、 支重競技のみ 、 横泳ぎ競泳・支重競技両方
(該当申込を○で囲む)

日本泳法大会参加歴：初めて・2回目以上

(公財)日本水泳連盟



公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青木 剛 殿

範士資格審査申請書

※審査番号 範2017-

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「範士」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

日本水泳連盟加盟団体(都道府県水泳連盟・協会)長 承認欄

上記申請者の範士資格審査受査を承認します。

加盟団体名

及び 長印

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男 ・ 女	西暦 年 月 日 生 (大正 ・ 昭和 ・ 平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は書類審査の対象となりますので正確にご記入下さい。

教士取得後の行事参加及び日本泳法普及・発展貢献・指導履歴等

日本泳法大会 泳法競技・同ジュニアクラス審判員担当回数: 回…回数は泳法競技・同ジュニアクラス合算回数をご記入下さい
係員担当回数: 回(担当係名:
日本泳法研究会 参加回数: 回
日本水泳連盟関係

都道府県水連関係

所属団体関係

その他

受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦)

游士(年取得) 練士(年取得) 教士(年取得)

※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入:団体名()→()→()

※他の流派で取得した資格がある場合は記入:流派名() 資格: (年取得)

資格審査に参考となる特記事項

■演技種目…本人指定2種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内にご記入下さい。

	第一種目	第二種目
本人指定演技種目		

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※審査番号 教2017-

教 士 資 格 審 査 申 請 書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青 木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「教士」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男 ・ 女	西暦 年 月 日 生 (大正・昭和・平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 ----- 所在地	団体名 ----- 代表者氏名: ----- TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は書類審査の対象となりますので正確にご記入下さい。

練士取得後の日本泳法指導歴 年 月 ~ 年 月	教場及び代表指導者	指導対象者
受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦) 游士(年取得) 練士(年取得) ※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入:団体名()→()→() ※他の流派で取得した資格がある場合は記入:流派名() 資格:() 年取得)		
練士取得後の行事参加及び日本泳法活動歴		
日本泳法大会	係員担当回数: 回(担当係名:) (泳法競技・同ジュニアクラス・団体泳法競技審判員経験者はその時期と回数: 年 ~ 年に 回)	
日本泳法研究会	参加回数: 回	
日本水泳連盟関係		
都道府県水連関係		
所属団体関係		
資格審査に参考となる特記事項		

■演技種目…本人指定1種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内にご記入下さい。

	第一種目 本人指定	第二種目 専門委員会指定	第三種目 専門委員会指定
審査演技種目			

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おきください。



※審査番号 練2017ー

練士資格審査申請書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「練士」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ氏名	(旧姓:)	男・女	西暦 年 月 日生 (大正・昭和・平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は審査の参考となることがありますので正確にご記入下さい。

游士取得後又は過去10年の日本泳法履歴

練習・研鑽歴 年 月 ~ 年 月	教場及び代表指導者	指導・師事者
行事参加状況及び日本泳法活動歴		
日本泳法大会	係員担当回数: 回(担当係名:) 練士資格審査受査: 本年の受査が 回目	
日本泳法研究会	参加回数: 回	
日本水泳連盟関係		
都道府県水連関係		
所属団体関係		

受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦)
游士(年取得)
受査流派による日本泳法大会泳法競技出場歴(西暦・大会回数等) (年)第 回 予選・決勝 出場・第 位 (年)第 回 予選・決勝 出場・第 位 (年)第 回 予選・決勝 出場・第 位
※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入:団体名()→()→()
※他の流派で取得した資格がある場合は記入:流派名() 資格: (年取得)
資格審査に参考となる特記事項

■演技種目…資格審査専門委員会が指定します。

	第一種目	第二種目
審査演技種目		

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※審査番号 游2017-

游 士 資 格 審 査 申 請 書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青 木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「游士」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男・女	西暦 年 月 日 生 (大正・昭和・平成 年) 2017年 4月 1日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は審査の参考となることがありますので正確にご記入下さい。

過去10年の日本泳法履歴		
練習・研鑽歴 年 月 ~ 年 月	教場及び代表指導者	指導・師事者
行事参加状況及び日本泳法活動歴		
日本泳法大会	係員担当回数: 回(担当係名:)	游士資格審査受査: 本年の受査が 回目
日本泳法研究会	参加回数: 回	
日本水泳連盟関係		
都道府県水連関係		
所属団体関係		
受査流派以外の日本泳法資格取得履歴(西暦)		
流派名: ()	資格: ()	年取得
資格審査に参考となる特記事項		

■演技種目…本人指定4種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内に記入して下さい。

尚、「第一種目」は記入種目となり、「第二種目」は記入3種目より専門委員会が指定しますので必ず3種目記入して下さい。

記入数が足りない場合は審査対象外となることもあります。

審査演技種目	第一種目	第二種目		
	本人指定①	本人候補指定②	本人候補指定③	本人候補指定④

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※審査番号 如2017-

如水資格審査申請書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「如水」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男 ・ 女	西暦 年 月 日 生 (大正・昭和・平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。
演技審査と合わせ下記各項目は審査の対象や参考となることがありますので正確にご記入下さい。

受査流派練習・研鑽歴		教場・及び代表指導者	指導・師事者
開始時期:	年 月 ~ 年 月		
日本泳法研鑽会	参加状況(教士若しくは和水取得後の研鑽会参加回または参加年度): 第 回・年度		
過去10年の日本泳法行事参加歴等			
日本泳法大会	競技出場回数: 回、役員参加回数: 回及び職務()		
	(泳法競技・同ジュニアクラス・団体泳法競技審判員経験者はその時期と回数: 年 ~ 年に 回)		
日本泳法研究会	参加回数: 回		
その他			
受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦)			
游士(年取得)	練士(年取得)	教士(年取得)	
※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入: 団体名() → () → ()			
※他の流派で取得した資格がある場合は記入: 流派名() 資格: (年取得)			
資格審査に参考となる特記事項			

■演技種目…本人指定2種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内にご記入下さい。

	第一種目	第二種目
本人指定演技種目		

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※審査番号 和2017-

和水資格審査申請書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「和水」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男・女	西暦 年 月 日 生 (大正・昭和・平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は審査の対象や参考となることがありますので正確にご記入下さい。

過去10年間の受査流派練習・研鑽歴	教場・及び代表指導者	指導・師事者
年 月～ 年 月		
日本泳法研鑽会 参加状況(練士若しくは修水取得後の研鑽会参加回または参加年度): 第 回・年度		
過去10年の日本泳法行事参加歴等		
日本泳法大会 競技出場回数: 回、役員参加回数: 回及び職務()		
日本泳法研究会 参加回数: 回		
その他		
受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦) 游士(年取得) 練士(年取得)		
※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入:団体名()→()→()		
※他の流派で取得した資格がある場合は記入:流派名() 資格: (年取得)		
資格審査に参考となる特記事項		

■演技種目…本人指定2種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内にご記入下さい。

	第一種目 本人指定①	第二種目 本人指定②	第三種目 専門委員会指定
審査演技種目			

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※審査番号 修2017-

修水資格審査申請書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法資格審査規程に従い、「修水」資格審査を受けたく下記のとおり申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内をもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名	(旧姓:)	男・女	西暦 年 月 日 生 (大正・昭和・平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)	TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名 所在地	団体名 代表者氏名: TEL ()	

■水泳歴等 注:活動(参加・取得)時の氏名が現在と異なっている場合、当時の氏名をご記入下さい。

演技審査と合わせ下記各項目は審査の対象や参考となることがありますので正確にご記入下さい。

日本泳法入門～研鑽歴	教場及び代表指導者	指導・師事者
年 月～ 年 月		
日本泳法研鑽会	参加状況(研鑽会参加回数または参加年度): 第 回・年度	
過去10年の日本泳法行事参加歴等		
日本泳法大会	競技出場回数: 回、役員参加回数: 回及び職務()	
	練士資格審査受査: 昨年までに 回	
日本泳法研究会	参加回数: 回	
その他		
受査流派による日本泳法資格取得履歴(西暦)		
游士(年取得)		
※上記資格取得の間に所属団体の変更があった場合は記入: 団体名()→()→()		
※他の流派で取得した資格がある場合は記入: 流派名() 資格: (年取得)		
資格審査に参考となる特記事項		

■演技種目…本人指定1種目を(公財)日本水泳連盟日本泳法競技規則「泳法競技種目一覧表」より選択し、太枠内に記入して下さい。

	第一種目	第二種目
	本人指定	専門委員会指定
審査演技種目		

※資格審査専門委員会使用欄

受査条件確認	書類審査	演技審査	(特記事項等)	判 定

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、本連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。



※受付番号 永2017-

永 年 表 彰 申 請 書

公益財団法人 日本水泳連盟
会長 青 木 剛 殿

2017 年 月 日

(公財)日本水泳連盟 日本泳法委員会 永年表彰規程の表彰を受けたく、下記の通り日本泳法大会参加状況を申請いたします。
尚、本申請書に記載した個人情報が、(公財)日本水泳連盟の個人情報保護方針・規程に基づき使用されることに同意いたします。

申請者氏名

印

※太枠内にもれなく正確にご記入下さい。

フリガナ 氏 名			男 ・ 女	西暦 年 月 日 生 (大正 ・ 昭和 ・ 平成 年) 2017 年 4 月 1 日現在 満 歳
住 所	(〒 -)		TEL () 携帯 ()	
所 属	流派名	団体名		
	所在地	代表者氏名: TEL ()		
本年日本泳法大会参加申し込み内容(該当を○で囲んで下さい)				
競技の部 団体泳法競技 ・ 団体泳法競技(シニアクラス) ・ 横泳ぎ競泳 ・ 支重競技				
資格審査の部 游士 ・ 練士 ・ 教士 ・ 範士 ・ 修水 ・ 和水 ・ 如水				
過去の日本泳法大会参加状況				
年度	回数	開催地	参加内容(該当種目に○)	備考(流派・所属・氏名等が現在と異なる場合は当時のものを記入下さい)
2017	62	長 野	上記	
2016	61	大 阪	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2015	60	広 島	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2014	59	名古屋	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2013	58	京 都	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2012	57	横 浜	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2011	56	千 葉	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2010	55	神 戸	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2009	54	浜 松	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	
2008	53	水 戸	団体・横泳競泳・支重 資格審査【 】	

※日本泳法委員会使用欄

申請者確認	表彰条件確認			表 彰

※日本泳法委員会では、「(公財)日本水泳連盟 個人情報保護方針」並びに「同 個人情報保護規程」に基づき、本申請書に記載された個人情報を取扱います。尚、取得した個人情報は、連盟行事の記録・紹介等の目的で公開されることがあることをご承知おき下さい。

申込金納入表兼確認書

**申込者は、裏面記載の注意事項を確認し、
チェック欄にチェックマークを記入して下さい。
また、注意事項をご覧になり、申込書等をご確認いただきましたら
署名若しくは記名をお願いします。**

納 入 者	氏 名		所 属	
-------	-----	--	-----	--

(必ず本表に 郵便振替払込請求書兼受領証のコピーをつけてお申込み下さい)

1、泳 法 競 技	男子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
	女子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
1、同ジュニア	男子	1, 0 0 0 円×	名＝	円
	女子	1, 0 0 0 円×	名＝	円
1、団	体	7, 0 0 0 円		円
1、団体シニア		7, 0 0 0 円		円
1、横泳ぎ競泳	男子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
	女子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
1、支 重 競 技	男子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
	女子	2, 0 0 0 円×	名＝	円
1、游	士	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、練	士	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、教	士	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、範	士	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、修	水	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、和	水	5, 4 0 0 円×	名＝	円
1、如	水	5, 4 0 0 円×	名＝	円

合 計 円

競技出場申込金は不課税、資格審査受査料は課税税込金額です。

一旦納入された出場申込金は返金いたしません。

確認事項

□に確認チェックマーク「✓」を入れて下さい

- 競技者の申込みは、競技者登録内容等を確認するため“WebSWMSYS”の画面から「登録済み競技者一覧」を印刷し本書に添付するか、または、出場者の「競技者登録カード」のコピーを添付して下さい。なお、申込書記載内容と「登録済み競技者一覧または競技者登録カード」の情報が違っていた場合、「登録済み競技者一覧または競技者登録カード」の情報を真正な情報として本大会に登録します。

注1:登録済み競技者一覧を添付される場合、本大会に出場しない方の情報については、お手数ですが墨消し等をして個人情報保護に関して配慮して下さい。

注2:競技者登録カードのコピーを添付される場合、選手登録をした団体名（游泳団体、スイミングクラブ等）を付記してください。

- 競技及び資格審査の申込みについて、泳ぐ種目の記載にあたり略称は用いず、「泳法競技種目一覧表（平成26年4月1日現在）」に記載された名称を記載して下さい。なお、「泳法競技種目一覧表（平成26年4月1日現在）」は“日本泳法競技規則 日本泳法資格審査規程 平成26年4月1日改正・施行”、“前年度大会プログラム”に記載されています。本規程は、日本水泳連盟ホームページで閲覧することができます。

- 資格審査申請書の記載について

①ご自身の生年月日、年齢は指定のとおりに正確に記載して下さい。

②各資格の取得履歴は、西暦で記入して下さい。また、空欄にせず、ご自身で調べてから申請書を提出して下さい。

③練士資格審査申請書の記載の仕方について。「受査流派による日本泳法大会泳法競技出場歴」は、「団体泳法競技もしくは団体泳法競技シニアクラス」の出場履歴ではありません。ご注意下さい。

- 申込書・申請書等の記載に不備があった場合、必ず書面により当委員会担当者まで申し出下さい。また、大会プログラム確定期日（業務都合により変動しますがおおむね7月末日）を過ぎての修正はいかなる場合でもできませんのでご了承下さい。

- 大会では、参加者の皆様に監督者会議または場内通告もしくは場内掲示により諸注意を申し上げます。各チームのご担当者様は必ずチーム内に伝達し、徹底をしていただくようにご協力下さい。

- 競技または審査の招集時刻の遵守をチーム内で徹底して下さい。監督者会議等で伝達した招集時刻を過ぎて不在の時は、出場不可といたします。

- 申込書等の到着期限について、運送事情等で遅くなる恐れがあるときは、申込み期限内にご一報下さい。

以上、すべて確認しました。

年 月 日

所属（申込）団体名

記載者氏名

＜郵便振替払込請求書兼受領証（見本）＞

* 口座記号・番号欄に 振替番号、加入者名 を間違いなくご記入ください。

払込取扱票

口座記号・番号はお間違えのないよう記入してください。

口座記号「001301」

金額「0005178」

公益財団法人 日本水泳連盟

第62回日本泳法大会

振替払込請求書兼受領証

口座記号「001301」

金額「0005178」

公益財団法人 日本水泳連盟

公益財団法人 日本水泳連盟

ご依頼人欄に「振込人名」をお忘れなく。

通信欄には「第62回日本泳法大会」と貴団体名を必ずご記入ください。

* ご依頼人欄に 振込人名 をお忘れなく。

* 通信欄には「第62回日本泳法大会」と 貴団体名 を必ずご記入ください。

※オーダー表は、提出締切時間までに記録室へご提出下さい。
提出が遅れた場合、5名出場出来ない場合、失格となりますのでご注意ください。
締切時間：1回戦～準々決勝分までは、大会初日(土曜日)支重競技開始時
準決勝以降分は、2日目(日曜日)準々決勝開始時

団体泳法競技オーダー表

団体名 流派名

試合番号 番(1回戦・2回戦・準々決勝・準決勝・3位決定戦・決勝)

赤 ・ 白(奥側) 対戦相手
(トーナメント番号の若番が赤で手前側) ↓該当体位を丸で囲む

泳順	(フリガナ) 氏 名	演 技 種 目			得票 勝敗
1		平 体	横 体	立 体	／本
2		平 体	横 体	立 体	／本
3		平 体	横 体	立 体	／本
4		平 体	横 体	立 体	／本
5		平 体	横 体	立 体	／本
各体位別種目数確認→					／5
※自流派に横体種目がない場合には、他流派の横体種目を選ぶものとし、その種目の属する流派名を記載すること。 例:「一重伸」(水府流太田派) ※用紙が不足する場合、本表のコピーをとり記入してください。					

※オーダー表は、提出締切時間までに記録室へご提出下さい。
提出が遅れた場合、5名出場出来ない場合、失格となりますのでご注意ください。
締切時間：1回戦～準々決勝分までは、大会初日(土曜日)支重競技開始時
準決勝以降分は、2日目(日曜日)準々決勝開始時

団体泳法競技オーダー表

団体名 流派名

試合番号 番(1回戦・2回戦・準々決勝・準決勝・3位決定戦・決勝)

赤 ・ 白(奥側) 対戦相手
(トーナメント番号の若番が赤で手前側) ↓該当体位を丸で囲む

泳順	(フリガナ) 氏 名	演 技 種 目			得票 勝敗
1		平 体	横 体	立 体	／本
2		平 体	横 体	立 体	／本
3		平 体	横 体	立 体	／本
4		平 体	横 体	立 体	／本
5		平 体	横 体	立 体	／本
各体位別種目数確認→					／5
※自流派に横体種目がない場合には、他流派の横体種目を選ぶものとし、その種目の属する流派名を記載すること。 例:「一重伸」(水府流太田派) ※用紙が不足する場合、本表のコピーをとり記入してください。					

※オーダー表は、提出締切時間までに記録室へご提出下さい。
提出が遅れた場合、5名出場出来ない場合、失格となりますのでご注意ください。
締切時間：大会初日(土曜日)支重競技開始時

団体泳法競技シニアクラスオーダー表

団体名 _____ 流派名 _____

試合番号 番(1回戦 ・ 準決勝 ・ 3位決定戦 ・ 決勝)

赤 ・ 白(奥側) 対戦相手 _____
(トーナメント番号の若番が赤で手前側) ↓該当体位を丸で囲む

泳順	(フリガナ) 氏 名	演 技 種 目			得票 勝敗
1		平 体	横 体	立 体	／本
2		平 体	横 体	立 体	／本
3		平 体	横 体	立 体	／本
4		平 体	横 体	立 体	／本
5		平 体	横 体	立 体	／本
各体位別種目数確認→					／5
※自流派に横体種目がない場合には、他流派の横体種目を選ぶものとし、その種目の属する流派名を記載すること。 例:「一重伸」(水府流太田派) ※用紙が不足する場合、本表のコピーをとり記入してください。					

※オーダー表は、提出締切時間までに記録室へご提出下さい。
提出が遅れた場合、5名出場出来ない場合、失格となりますのでご注意ください。
締切時間：大会初日(土曜日)支重競技開始時

団体泳法競技シニアクラスオーダー表

団体名 _____ 流派名 _____

試合番号 番(1回戦 ・ 準決勝 ・ 3位決定戦 ・ 決勝)

赤 ・ 白(奥側) 対戦相手 _____
(トーナメント番号の若番が赤で手前側) ↓該当体位を丸で囲む

泳順	氏 名 (フ リ ガ ナ)	演 技 種 目			得票 勝敗
1		平 体	横 体	立 体	／本
2		平 体	横 体	立 体	／本
3		平 体	横 体	立 体	／本
4		平 体	横 体	立 体	／本
5		平 体	横 体	立 体	／本
各体位別種目数確認→					／5
※自流派に横体種目がない場合には、他流派の横体種目を選ぶものとし、その種目の属する流派名を記載すること。 例:「一重伸」(水府流太田派) ※用紙が不足する場合、本表のコピーをとり記入してください。					

平成 29 年 6 月 16 日
(公財) 日本水泳連盟
日本泳法委員会

「資格ワッペン」作成と販売のお知らせ

当連盟は、平成 26 年度より日本泳法資格審査制度を見直し「範士」「教士」「練士」「游士」「如水」「和水」「修水」の 7 資格として運営を行っており、各資格の登録者へ登録資格に対応した「資格ワッペン」の販売も開始しております。

当年度の資格審査合格者（取得者）で希望される方には、資格登録申込（登録料支払い）時に該当資格のワッペンを 1 枚販売致します。

前年度までの資格登録者で希望される方には、「資格ワッペン現金購入申込書」を大会初日に受付にご提出いただければ、内容確認後大会二日目に代金引換にて販売致します。（販売時刻は未定）

二日目の購入が困難な場合は、事前に購入代金を振替「振替払込請求書兼受領証写」を添付した「資格ワッペン購入申込書」と御自身の宛先記載 82 円切手貼付返送用封筒を添えてご提出いただければ、内容及びお振替等の確認後、返信用封筒にワッペンを封入し返送致します。

ワッペンの裏面はアイロンシール加工が施されております。

販売価格は各資格とも消費税込み¥1,000-／枚です。

大会当日までに手続きや準備が間に合わなかった場合やその後に購入を希望される場合は、(公財) 日本水泳連盟事務所への郵送による受付も随時行います。

尚、事務所受付分につきましては、原則として月一回の発送を予定しており、申込書内容やお振替の確認との関係上相当の日数がかかることも考えられます。又、申込書や振替に不備がありますとワッペンの送付が出来ないほか、購入代の返金も致しかねる場合もございますので、ご承知おき戴きお申し込みの際は記載内容等手続きにご注意ください。

振込取扱票記入必須事項

お振替口座記号番号：0013＝1＝5178

加入者氏名：公益財団法人 日本水泳連盟

通信欄： 日本泳法 資格ワッペン購入代金

申込書送り先

150-8050 東京都渋谷区神南 1-1-1 岸記念体育会館

公益財団法人 日本水泳連盟 日本泳法委員会 資格ワッペン係 宛

以 上

日本泳法 「資格ワッペン」 購入申込書

氏 名	
流 派 名	
団 体 名	
住 所	〒 TEL ()
ワッペン種類	範士 ・ 教士 ・ 練士 ・ 游士 ・ 如水 ・ 和水 ・ 修水
資格取得年	西暦 年 (昭和 ・ 平成 年)
取得大会	第 回 日本泳法大会 (開催場所 :)
備 考	資格取得時の氏名や流派・団体名が現在と違う場合は本欄に当時のものを記載ください

注意:ワッペン購入申込みには、届け先記入 82 円切手貼付の返信用封筒の同封が必要です。

振替払込請求書兼受領証写 添付欄

日本泳法 「資格ワッペン」 現金購入申込書

受付番号

(委員会記入) :

氏 名	
流 派 名	
団 体 名	
住 所	〒 TEL ()
ワッペン種類	範士 ・ 教士 ・ 練士 ・ 游士 ・ 如水 ・ 和水 ・ 修水
資格取得年	西暦 年 (昭和 ・ 平成 年)
取得大会	第 回 日本泳法大会 (開催場所 :)
備 考	資格取得時の氏名や流派・団体名が現在と違う場合は本欄に当時のものを記載ください

提出時切り取り

資格ワッペン現金購入券

氏 名 :

受付番号 (委員会記入) :